

富士河口湖古の小径

金銅薬師如来立像と廻り舞台が 町文化財に指定されました！

町教育委員会では、平成18年12月20日に小立地区の常在寺に安置されている「金銅薬師如来立像」、平成19年1月17日に同じく小立地区の妙法寺境内内にある「廻り舞台」を町の文化財として指定しました。

この2つの文化財の概要について紹介します。

金銅薬師如来立像



この像は鎌倉時代の制作と推定され、その法量は像高47・9センチである。像容は左ひじを曲げて薬壺を持ち、右手は掌を前に立てて第一指と第四指を捻じ、台座上に直立する普通の形相である。ややなで肩でほっそりとした軀で、胸部から腹部にかけて絶妙な肉身の起伏をあらわしている。



穏やかな表情に端正な目鼻立ちで、着衣の衣紋線も整理されており、鎌倉時代の特色をよく示している。

現在は常在寺に安置され、県下では作例の少ない金銅仏である。

廻り舞台

小立の妙法寺境内の一角に所在する三十番神堂の拜殿として造られた建物である。明治19年に火災に遭い消失したが、明治23年頃復興されたといわれている。復興された当時から若者を中心に歌舞伎やヤマトコ踊りなどの地芝居が盛んに行われ、村民はもちろんだ郊在所からの見物人で境内は身動きが出来ない状態であったという。

この廻り舞台は山梨県内では珍しく大変貴重な建物である。舞台上に張り合わせた寄木の中に円形の切込みがあり、舞台の下には丸い柱が見え、それを回すと舞台の円形部分回転し、場面展開が出来ると仕組みとなっている。



廻り舞台 (東側)



廻り舞台 (南側)

現在のは林区の芸能祭りがこの舞台で行われ、かつての賑わいを取り戻しつつある。

おめでた・おくやみ

【1月19日から2月14日まで】

おめでた(出生)

お子さん 父 母

| | | |
|-------|-------|----|
| 高山ひより | 岳大さゆり | 船津 |
| 宿澤実季 | 将憲あさみ | 船津 |
| 佐野康希 | リエ | 小立 |
| 外川菜々美 | 仁志由美子 | 小立 |
| 井出実季 | 昌克薫 | 浅川 |
| 宮下尚紀 | 尚也絵里花 | 河口 |
| 中村心良 | 昌博佐知子 | 河口 |

おくやみ(死亡)

届出人

| | | |
|-------|------|----|
| 渡辺つなよ | 菅野和子 | 船津 |
| 小池誠一 | 小池春記 | 船津 |
| 外川鉄也 | 外川節子 | 船津 |
| 梶原チヨ子 | 梶原幸夫 | 船津 |
| 井出あさ子 | 井出重幸 | 船津 |
| 小佐野勝子 | 小佐野實 | 船津 |
| 奥津げん | 奥津武 | 船津 |
| 渡邊よし | 渡邊旻 | 小立 |



書家 山下涯石先生



船津出身の山下涯石先生は、明治32年8月18日、父宮下興作・母よしの三男としてこの地に生を受けた。本名宮下金作は、船津小学校時代よりその書才が認められ、人の代書をする程であった。看板を業とする山下氏が、その才能を認め、見習いと修行のため上京を勧めた。これが、後の書家山下涯石を生むきっかけとなったのである。看板屋として修行中、その天分と向学心は止まず、ついに大正5年当時の書家・武田雲洞の門に入り、雲谷と号して書の修行に励んだ。

その後、見込まれて山下家の養子となり、東京に留まり書家として本格的な活躍と修行に取り組んでいったのである。大正13年雲洞の死後、吉田苞竹に師事し、東方書道会に属して書作品を発表し始めた。その第一回展に集字聖教序の全臨を出品して、その才とその努力を認められたのは有名な話である。

その作風は、25歳頃までは武田雲洞氏の影響を受け、古武士を思わせる書風があり、25歳以後35歳頃までは、吉田苞竹氏の書風が濃厚に表れている。しかし、涯石と改号し40歳を過ぎる頃は全く独自の涯石風を確立していったのである。

先生は篆、隸、楷、行、草、およそ不得意な書体はなかったとされている。書の特徴は、温かい親近感を基調として雄大な構想と大胆な表現とにあるが、これが鍛錬による確実な技法によって裏づけされているのである。本当に幅広い書家であった。

終戦後、先生には郷土の書の指導のため、度々河口湖に來られ、中村湖石先生とも親交があった。この頃、郷土で涯石先生に入門したのが渡辺寒鷗先生、野村静谷先生などであった。寒鷗先生にその当時の様子を聞いてみると、当初、東京の神田錦町の出版社の2階に教室があり、そこで師より熱心な指導を受け、その後涯石先生は大塚に移転し、そこを生涯の住居と定めた」とのことである。寒鷗先生は涯石先生について特に「隸書」の名人であったと評している。先生の書歴は財団法人書壇院理事審査員、同文会総務部長、毎日展審査員等を経て、昭和35年度認められて日展依嘱作家として推奨されると云う榮譽に浴している。



安藤耀石氏(故人・評論家・日展会員)は先生を評して、善意というものがあれほど迄に前面に少しの不自然さもなく押し出してくるのは、それが山下さんの生得のものでは勿論あるが、それと同時に又深い曲折を経た、いわば性根の据わったものでもあったらう」と述べている。

しかし、涯石先生はこれからの活躍が期待されているという矢先、昭和35年10月25日、病のため長逝されたのである。書壇は勿論、郷土においても誇り得る数少ない文化人を失ったことは誠に残念である。その後、昭和40年12月、故人を偲び、山下涯石遺墨集が発行されており、先生の残した芸術は我々の手本として永久に残るであらう。

文化財審議会委員 堀内健三

国民年金・社会保険相談所

日時 4月10日(火)
午前9時30分から午後4時

場所 河口湖商工会
山梨社会保険事務局大月事務所

問合せ 0554223811

人のうごき

2月 1日現在の人口・世帯

| | |
|----|---------------|
| 人口 | 25,730人 (-27) |
| 男 | 12,652人 (-23) |
| 女 | 13,078人 (-4) |
| 世帯 | 8,709世帯 (+1) |

渡邊 博文 〃 海老原智実 小立

【お詫びと訂正】
2月号18ページ、おくやみ(死亡)で誤りがありました。お詫びと訂正をさせていただきます。

【誤】 駒谷 安明 (正) 駒谷 栄

おしあわせに(結婚)

| | | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 岩本 行生 62歳 岩本 和子 小立 | 外川 禮 78歳 外川 園子 小立 | 桑原すみ子 83歳 桑原 達雄 河口 | 小佐野房夫 75歳 小佐野裕治 勝山 | 流石 兵市 75歳 流石 玲子 勝山 | 伊藤まさ子 83歳 伊藤 周二 本栖 |
|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

小立ミニバスチームが準優勝！

小立ミニバスケットボールスポーツ少年団は、去る1月14・21・28日に行われた、第29回UTY杯県ミニバス交歓大会兼第38回全国大会県予選会において、準優勝（女子77チーム中2位）の成績を収めました。日頃の練習の成果が銀メダルにあり子ども達には素晴らしい思い出となりました。



小立ミニバスでは、男子・富士河口湖バスケットクラブを結成しました。共に感動を分かち合う楽しい仲間（男女共）を募集しています。

練習日 毎週水・土曜日
練習場所 小立小体育館（上履きを用意して下さい）
連絡先 72 5718（渡辺）
 見学はいつでもできます。

献血にご協力をお願いします！

輸血用血液には有効期限があります。血液が使われない日はありません。健康な皆様の献血が毎日必要です。

日時 4月5日（木）
 午前10時～12時 午後1時～3時
場所 町役場駐車場
主催 富士河口湖町
協力 河口湖ライオンズクラブ
 輸血用血液の安全対策として
 本人確認できるものを持参下さい。
 パソコン入力による情報確認のため、時間を要する場合があります。ご理解とご協力願います。

中央公民館駐車場の使用について

最近、中央公民館前に数日間、駐車されている車が数台あります。また、早朝や深夜の集合場所として使用されているケースもあり、ご近所の住民に大変ご迷惑をおかけしています。

駐車されたままの車が、子ども達や身障者の乗り降りに支障となるばかりでなく、緊急車両の出勤にも影響しかねない状況です。

公民館等の使用目的以外にご使用される場合は、生涯学習課か中央公民館へ必ずご連絡をお願いいたします。また、駐車場内ではアイドリングを止めるなどルール、マナーを守りましょう！

今月の行政相談・心配ごと相談日 3月20日（火）

| 場所 | 時間 | 弁護士相談 |
|------------|---------|---------|
| 町交流センター | 10時～14時 | 10時～12時 |
| 勝山ふれあいセンター | 午後1時～4時 | 午後1時～3時 |
| 足和田出張所 | | 午後1時～4時 |
| 上九一色出張所 | | |

行政相談・心配ごと相談・弁護士相談は、どこの場所へ行ってもOKです。

県の機関が行っている各種相談

無料弁護士相談
日時 毎月5、10、15、20、25日
 午後1時～3時30分
場所 県民生活センター相談室
 （この日が土・日・祝日の場合は前後の平日）
 （県民情報プラザ2階：甲府市）
 相談は予約制で、1人当たり30分

電話相談
県民生活センター
 055 2223 1366
富士・東部地域県民センター
 (0554) 455038・7843
曜日・時間 月曜日～金曜日（祝日除く）
 午前9時～午後4時

町の行政相談委員さんは、
 白壁 勝雄 72-0143 小佐野成太郎 83-2320
 梶原 一榮 82-2446 渡辺 袈裟司 87-2316

休日・夜間の救急医の問い合わせ先 23-4444（富士五湖消防本部テレフォンサービス）
 平日 午後5時～、土曜日 12時から、日曜・祝祭日 午前8時～



ISO 14001 認証取得
 地球環境にやさしい町づくりを進めています。

